

輝け！シン尾花沢中

伸びよとさそう 常若の ああ尾花沢中学校

タイトルデザイン
教育指導室
伊藤瑞稀さん

他人の役に立つことを自身の喜びに①～長寿園ボランティア～



6月30日（月）、16名の有志による長寿園でのボランティア活動が行われました。

たいへん暑い中、生徒は施設のドアや窓をブラシや布できれいにする作業を行いました。参加した生徒の振り返りを、3回にわたって紹介します。

山口 こはる 心晴さん (2年)	暑かったけれど、何度も拭いているうちに、 <u>窓がだんだんきれいになっていくのが気持ちよかった</u> 。施設の方々は、入居されている方の介護などの仕事もやりながら掃除もしていると思うと、 <u>すごく大変だなと感じた</u> 。また機会があれば、ぜひ参加したい。	
鈴木 まりあ 麻理亜さん (3年)	暑い中、たくさんある窓を拭いて清掃するのはとても大変だった。しかし、 <u>拭くたびに窓がきれいになるのはとてもやりがいがある</u> と思った。窓が大きいのは、日の光が入りやすいようにするためや、利用者の方が外をいつも見ることができるようにするためであることが分かった。 <u>利用者の方の対応を含めて、清掃を行っている職員の方々の大変さを知る</u> ことができとても良い時間だった。	
大山 くるみ 來実さん (3年)	<u>おじいちゃん、おばあちゃんの笑顔が見たくて夢中になっていた</u> 。直接あいさつすることはできなかったけれども、玄関から聞こえる <u>利用者の方の笑い声に感動した</u> 。私たちの働きで、 <u>元気な笑顔になってくれる人が1人でも増えてくれればとてもうれしい</u> 。この場所が終の棲家となる利用者の方もいると思う。「 <u>私たち若者の最後の恩返し</u> 」として受け取ってくださって幸せになってほしい。いろいろ考えさせられ、楽しいだけのボランティアではない貴重な経験となった。	

いろいろなことを考える貴重な経験になったようです。

【文責：校長 工藤雅史】